



明化の教

9月号(第525号)

令和6年9月2日

文京区立明化小学校

校長 熊倉 勝

思いを受けとめる

校長 熊倉 勝

今年の夏は、パリオリンピック・パラリンピックでアスリートの皆さんの素晴らしいパフォーマンスを發揮する姿が、人々に多くの感動を与えました。「自分は声援が力になるタイプ。すごく背中を押された」というアスリートの言葉に代表されるように、有観客となったことで、観客の声援がアスリートの力になったことは間違いありません。これも東京大会での無観客を経験したからこそ、声援の力の大きさを改めて感じたのだと思います。また、大会連覇を目指した柔道の阿部詩選手が2回戦で敗れたとき、会場から「ウタ」コールが自然と沸き起こった光景を鮮明に覚えています。この様子のある仏紙は、「客席が『頑張れ、大丈夫だ』と言っているようだった」と評しています。会場の皆さんの温かな気持ちが、その後団体戦に出場した阿部選手にも伝わったことでしょうか。このように、大舞台で自分の力を存分に發揮するためには、自分一人だけではなく、まわりの声援が必要不可欠であり、支えてくれている人はもちろんのこと、さらに周囲の期待や思いをしっかり受けとめ、気持ちを奮い立たせることの大切さやその素晴らしさを感じ取ることができました。



ミニ校庭が完成しました。2学期から使用予定です。

さて、この夏休みには、開校150周年の取組に大きな進展がありました。本校卒業生の越川廉さん(平成26年度卒業)が、開校150周年を記念して曲を作り、器楽部に寄贈してくださいました。また、開校150周年を記念して作成していた新明化体操も完成しました。新明化体操は、10月12日(土)の記念明化スポーツフェスティバルで披露し、体育の整理運動として今後も活用していく予定です。越川廉さんの曲は、祝賀会で披露する他、器楽部コンサートでも演奏したいと考えています。

このように2学期から開校150周年記念行事が、本格的に始まります。子供たちの心に強く残る2学期にしたいと思っています。10月12日の記念明化スポーツフェスティバルを皮切りに、11月には、13日(水)に記念児童集会、16日(土)に記念式典及び祝賀会を行います。現在、地域の方々を含めた周年実行委員会やPTA周年委員会、学校とで準備が進んでいます。今後は、さらに地域や保護者の方々の多くのお力添えが必要となってきます。式典や祝賀会での受付や接待等、様々にお手伝いいただくこととなります。どうぞよろしく願いいたします。そして、節目の150周年です。一緒に周年記念事業を楽しみ、心に刻んでいただけましたら幸いに存じます。

一連の開校150周年記念行事を通して、本校に関わった方々の思いをしっかり受けとめるとともに、これまでのよき歴史と伝統を受け継ぎ、新たな歴史を自分たちで創っていくとする気概をもった子供たちの育成を目指して、教職員一同、力を合わせて教育活動を進めて参ります。今学期も本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

旧校舎の解体が終わり、校舎改築Ⅱ期工事が6月から始まっています。それに伴い、この夏にミニ校庭が完成しました。明化幼稚園の跡地にあります。約11m×約20mの校庭ですが、人工芝です。休み時間や学級での活動に使用していく予定です。今後さらに広くして、3学期には、仮校庭とする見込みです。